



下請けの底力1位に

消費者が抱える悩み解決!



2番目) や同社メンバーら 太田市山ノ神町内
A-1 グランプリの賞状を手にする羽廣さん(左から

桐生に一風変わった会社がある。その名もズバリ「下請の底力」。桐生や太田の中小企業経営者ら6人が3年前に設立した会社で、消費者が抱える様々な問題解決をサポートする。「農機具のカスタマイズ」「新商品の企画・製造・販売」など、社員一人ひとりが本業の強みを生かしてクライアントの要望に応じて

いく。株式会社ではあるが経営者支援や地域活性化活動など支援色が強い。今夏、同社の農業支援部門が全国農業ビジネスコンテストで最高賞を受賞するという快挙を遂げた。創立時から地道に積み重ねてきた実績が高く評価された形だ。同社のこれまでの活動や今回の受賞、今後の展開について取材した。(飯塚美穂)

本業の強みを生かす

同社は長引く不況を乗り越え地域の活性化を図ろうと、09年に設立された。メンバーは雑貨商社社長の登内義也さん(44 埼玉)、太田で町工場を営む羽廣保志さん(42)や歯車加工会社社長の梅澤隆司さん(37)、桐生のソフトウェア開発会社社長の今坂志津夫さん(45)や歯車製造会社社長の小林栄仁さん(49)と同社の齋藤琢哉さん(26)。「世の中の問題や課題を解決し、人々を感動させ幸せにすること!」を経営理念に掲げ、太田や桐生を中心に活動。製造業者が農業支援や講演活動を行ったり商品開発を手掛けるなど小回りのきく中小企業ならではの強みを活かす。大企業では応えられない細かい需要を救いあげてきた。同社のユニークな活動は口コミで広まり、昨年は桐生市から「桐生PR大使」にも任命された。今年には「チームともだち」というプロジェクトを立ち上げ被災

約200人の頂点に

今夏、同社の事業の中心をなす農業支援部門「えんのうプラザーズ」の羽廣さんが、新しい農業ビジネスを競うコンテスト「A-1 グランプリ」(農業技術通信社主催)で最高賞に輝いた。

東京で開かれた同大会には全国から約200人の応募があり決勝に進んだのは11人。大半は農業従事者などで、工業畑からの参加は羽廣さんのみ。考案した「農機具のカスタマイズ計画」は、農業が抱える問題を新しい切り口で解決し生産効率向上に貢献するとして高く評価された。

農業活性化に貢献

建設機械部品などを製造する会社専務の羽廣さんが、農機具のカスタマイズを始めたのは地元農家からの依頼だった。農家いわく、「購入先に修理を依頼すると新品の購入を促されてしまうし、改良依頼も引き受けてくれる場所がない」それなら一肌脱ごうと人助けのつもりで始めた仕事だ

地を支援するなど、引き続きPR大使として活躍中だ。



農家からカスタマイズの要望を聞き取る羽廣さん(右)＝太田、6月撮影



中耕機や消毒機などをカスタマイズする際の加工パーツ

ったが、リーマンショック後にも依頼が来るこの仕事を逆にチャンスと捉えた。一念奮起し農業について猛勉強をスタート。自ら畑を耕し、鳥獣害問題を学ぶため大学にも通う。これまで大企業からの受注ばかりだったが、自ら農家に営業をかけ依頼にコツコツ応えながら修理や改造を行ううちにノウハウが蓄積されていった。「困っている農家は全国にいるのではないか」と同グランプリ出場を思い立った。

用途に合わせ改良

農機具のカスタマイズとは、農地の状態や農家の体力・年齢など使用用途に合わせてカスタマイズすること。例えば、ネギの出荷作業に合うようベルトコンベアをネギの長さの幅に合わせたり、

中耕機を除草用仕様にするためエンジン回転数を下げ作業効率を上げるといった具合だ。さらに、汎用性の高い部品にすることでコストを落とし購入しやすいうように努める。「これまで受け口がなかった農家のニッチ(隙間)なニーズと、それに対応できる製造業者を結びつける役割を担いたい」と羽廣さん。そこには、農家を助けると共に、農機具販売店の退職者やリストウされた技術者に活躍の場を与えたいという一技術者としての思いもある。授賞を受け羽廣さんは、「農業以外の分野から参加したチャレンジ精神が評価されたと思う。これからも全国の農家と自分の様な職人を取り持ち、農業効率を上げ日本の農業全体を元気にしたい」と語った。

情報発信と収集

今回の受賞でメディアへ露出が増えたとはいえ知名度はまだまだ。いかにネットワークを広げていくかが今後の課題だ。現在、フェイスブックにページを立ち上げ、情報発信と情報収集を試みている。受賞の影響もあり、鹿児島から受注が来るなど少しずつ繋がりが出来始めているという。

同社の登内社長は、「地域活性化は1つの会社、2つの業界では成り立たちません。今回の受賞を励みに、より多くの人と繋がりメンバーの技とアイデアを駆使して様々な問題を解決していきたい」と意気込む。なお、会社では随時、「心意気のある」メンバーを募集中。同社(0277・78・6185)。